

●国家と市民、その意味が新たな像を結びつつある現代社会にあって、人類学の視線にも大きな変貌が求められている。本書はそうした課題への真摯な回答の試みである。

# 東アジアからの人類学

国家・開発・市民

伊藤亞人先生退職記念論文集編集委員会編

しかし、特に近年のグローバル化による急激な社会変化は、世界規模で緊急かつ深刻な課題を多々生じさせており、学問に対しても、それらの問題に迅速に対応する実践性や有益性をいっそう求めるようになってきた。ところが人類学は、個別のミクロな事象にこだわりの長期のフィールドワークを重視する傾向が強く、さらには自らのコロナアル性にも悩まされてきた。実践性に欠けるとしばしばみなされている。そして学問のボーダーレス化が進み、人類学の専売特許と自負してきたフィールドワークの手法が（たとえ人類学者からは不十分に見えるとしても）他の学問分野でも用いられるようになってくると、他の学問との競争力がさらに低下し、プレゼンスが低くなってきたのではないかと危惧すらも出てくるようになったのである。

もちろん本書は、あくまでも伊藤先生の退職を記念するためのものであって、これらの課題に真正面から取り組もうとするものではない。しかしこの時代に人類学を学び、研究をしている限り、その危機的状況と無縁でいることはできない。また、こうした状況は、人類学に新たな取り組みを迫っているだけでなく、ひるがえって、その足場こそをもう一度しっかりと確認する必要性があることも浮かび上がらせる。特に日本の人類学の場合、いわゆる輸入学問であるがゆえの難しさを抱えていることはすでに述べた。とするならば我々は、以上のように急激な変化にさらされている今だからこそ、あらためて日本の人類学とは何だったのか、何をしてきたのか、これからどこに向かうのかについて、いっそう真剣に問うていく必要があるのではないだろうか。

その意味で我々は、本書を、伊藤先生の退職記念論文集であると同時に、現在の日本で育ってきた人類学の成果の一端を具体的に確認しつつ発信していく場としても企画することにした。

(宇田川妙子「序」より)

序 (宇田川妙子)

●国家・近代

商品としての南原木器・韓国のものづくりに関する一試論(本田洋)どぶろくと抵抗・植民地朝鮮の「密造酒」をめぐる(板垣竜太)東アジアにおける同姓不婚規範の軌跡(坂元真一)コメモレイションから民族を考える・中国延边朝鮮族自治州の「九三」記念行事をめぐる(轟莉莉)されどわれらは満族・福建省三江口水師旗營の後裔たち(劉正愛)中国系移民の僑居化と土着化・ベトナム・ホイアンの事例から(三尾裕子)近代日本における「皇族」の誕生(李英珠)装いの政治・日常の装い・ブルガリアにおけるムスリム女性の着衣をめぐる(松前もゆる)彼女の胎児は50年眠っている・モロッコにおける過期妊娠信仰の現在(井家晴子)

●開発・市民

地域コミュニティと「文化」…政策立案サイドからみた「文化政策」の展開(中村淳)現代沖縄社会における宗教的実践と地域文化…沖縄本島佐敷町の事例より(姜京希)愛玩犬と食用犬の間…現代韓国社会の犬論争に関する一考察(フェルトカンプ・エルメル)現代韓国の教育事情…代案教育運動の展開(小玉博亮)モンゴル国東部牧畜地域における開発と移住(尾崎孝宏)水と「人間の安全保障」と文化人類学…ウガンダ農村の視点から(杉田映理)開発NGOのゆくえ…インドネシアにおける技術協力プロジェクトの試み(石丸奈加子)イタリヤ社会研究と「市民社会」概念…パットナムの『哲学する民主主義』を中心に(宇田川妙子)

●伊藤先生の人と学問

伊藤投手の秘密(木村秀雄)よさこい祭りと市民社会(伊藤亞人)伊藤亞人さんの人類学と韓国研究(嶋陸奥彦)伊藤亞人先生主要業績(記念論文集編集委員会)

体裁

・B5変型判・三二〇頁  
・並製・カバー

税込み定価

・三六七五円  
(本体三五〇〇円)

注文書	
流通センター取扱品	
発売	風響社 TEL: 03-3828-9249
税込み	三六七五円
部	

発行所 風響社

114-0014 東京都北区田端四一四一九  
電話〇三(三八二八)九二四九  
http://www.fukyo.co.jp

東アジアからの人類学

国家・開発・市民

ISBN4-89489-042-9 C3039 ¥3500E

〔お客様控え〕

ご氏名  
ご住所  
お電話

月 日